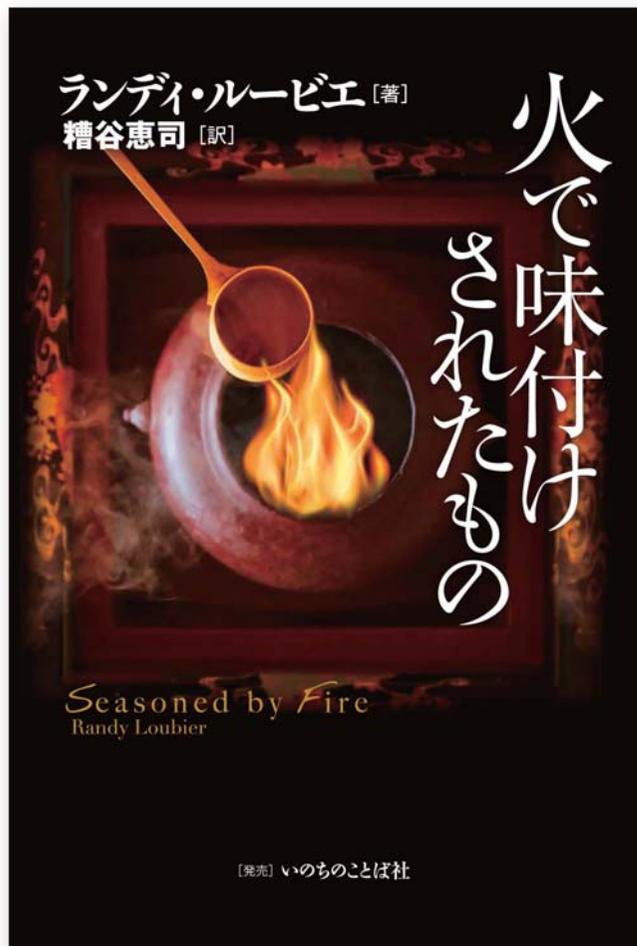


戦国時代を舞台にした物語と、現代人の物語が融合する、伝道冒険小説



火で味付けされたもの

ランディ・ルービエ 著
糟谷恵司 訳

本書は、過去と現在の二つの物語が交互に語られる伝道冒険小説。一つ目の物語の舞台は、キリスト教が伝えられた頃の東アジア。日本人のカイは、茶道文化を使った福音宣教の方法を伝授され、茶の苗を求めて渡った中国で迫害を受けながらも協力者を得ていく。もう一つの物語の主人公は、現代ドイツ人女性。彼女が中国で出会ったカイの末裔との交わりの中で聖書と出会い、2つの物語は融合していく。【いのちのことば社 協力出版】

四六判 240頁 定価1,980円(本体1,800円+税)
ISBN978-4-264-04493-2 C0016
いのちのことば社発売 ランディ・ルービエ発行
卸コード 802287

ランディ・ルービエ (Randy Loubier)

1958年、アメリカ合衆国ニューイングランド生まれ。父親から自立したビジネスパーソンになることを早くから教え込まれ、10歳の頃から有給で働くようになった。高校卒業後、一年間大学に通い、その後アメリカ空軍に入隊。コロラド、日本の三沢(1978-80年)、ニューメキシコの基地に駐留。除隊後、ニューメキシコ大学でファイナンスの学士号を取得した。最初の仕事は、カリフォルニアのAT&Tで財務アナリストとなり、同社で最も若い部門コントローラーの一人となった。同時にゴールデンゲート大学でファイナンスの経営学修士号(MBA)も取得。その後、ブルッキングス研究所のフェローやワシントンDCの下院議員の経済アドバイザーを一年間務めた。1993年、Atomic USA社の最高財務責任者(CFO)となる。その後、いくつかの企業でCFO、COO、CEOを歴任し、2012年に妻とともに高齢者向け在宅介護サービス会社360SHSを起業した。現在、ランディと妻のジュディーには、6人の子どもと5人の孫がいる。ニューハンプシャー州ニューボストンの田舎町に住み、地元の教会で牧師を務めながら、執筆活動や、日本庭園と茶室で過ごす時間を楽しんでいる。